

令和4年度医師奨学資金募集要項発表

奥州市では12月8日、来年度の医師養成奨学生募集要項を発表しました。皆様のお知り合いの方への周知をお願いします。

募集人員 1名程度

貸付金額 月額30万円 (定額)

入学一時金1.080万円 (定額)

入学準備金360万円を限度 (義務履行加算あり)

入学準備金(胆江枠)200万円 (義務履行加算無)

*** 貸付総額は最大で6年間で3,800万円です。**

応募資格

奥州市立病院及び診療所の医師として業務に従事する意思がある方

募集期間

令和4年2月1日(火)から4月20日(水)

選考

面接及び書類審査 令和4年3月19日(土)
3月16日以降に申請書受理者は別途お知らせ

償還免除

医師免許を取得し初期研修終了後に貸付期間と同じ期間、奥州市立病院で勤務した場合は貸付金額の償還を免除します。

応募方法

募集要項及び奥州市医療局ホームページにて詳細をご確認のうえ、下記問い合わせ先まで郵送または持参にてお申込みください。



問合せ先

奥州市医療局医師確保推進室：岩淵・佐々木、尾形
TEL 0197-25-3833 FAX 0197-25-3832

<https://www.city.oshu.iwate.jp/site/iryokyoku/>

今年度の改正点

- 1 募集期間2月1日(火)～4月20日(水)
- 2 面接及び書類審査を3月19日(土)としたこととです。

岩手県内の新型コロナウイルス感染の状況

県内の新型コロナ陽性者は、12月26日現在で3,487人(死亡53人)です。12月は昨年6月以来の感染者ゼロを記録できるか注目です。

岩手県内の月別コロナ患者数(令和3年12月26日現在)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
感染者	3	16	4	4	167	191	111	58	67	291	530	237	323	1002	475	7	1	0	3487

年代・男女別感染者数 R2年3月～R3年12月(単位:人)

年代	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計	比率・累計	症状無	累計比率
男性	116	193	412	313	328	220	153	103	46	15	1899	54%	312	16%
女性	113	174	296	246	227	211	114	82	79	46	1588	46%	296	19%
合計	229	367	708	559	555	431	267	185	125	61	3487		608	17%
比率	7%	10%	20%	16%	16%	12%	8%	5%	4%	2%	100%		10未、10代、20代 数値を累計に合わせ一部修正	
年代別	596人17%		2253人65%				638人18%							

大谷翔平選手との握手を体験しました!

奥州市と水沢鋳物工業協同組合は、本市の伝統的工芸品の一つである南部鉄器の技術を用いて日本ハム時代に大谷選手の握手像を作成しました。

握手像は奥州市伝統産業会館(奥州南部鉄器館)と奥州市役所本庁舎1階ロビーで公開しています。

海外で投打の二刀流で活躍する大谷選手、ぜひいらしてその雰囲気的一端を感じてみませんか?



市役所ロビーの握手像

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です
令和3年12月27日発行 奥州市医療局 医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833

一步境内に入ると、静かで爽やかな空気が気分を一新する妙見山黒石寺は、水沢駅から車で約 20 分、国指定重要文化財である御本尊の薬師如来坐像や、慈覚大師坐像などを目当てに、東京や関西からの来訪者も多いそうです。「12 世紀以降に造営された平泉の中尊寺よりも古い歴史があるんですよ。多い時には 48 ものお堂が並んでいたようです」と語る、昭和 55 年から第 39 代住職を務める藤波洋香さん。（注：現在の住職は藤波大吾さんです。）



寺の縁起によると 729 年に行基菩薩が開山し、その後戦火で焼失した寺を 807 年に征夷大將軍坂上田村麻呂が修築したそうです。849 年に寺を訪れた慈覚大師円仁が、座禅した石窟の蛇紋岩に寺を見て、黒石寺と命名。北側にある大師山の妙見祠から山号を妙見山とし、今に至ります。

写真解説

上左: カツラ材一本造りの薬師如来像（御本尊）。862 年像造との記録がお腹の中にあり、東北で最も古いとされる仏像。その光背には小さな七仏薬師がついている **中:** 鉄製の狛犬は、南部鉄器で有名な水沢羽田地区の鋳物師が江戸時代に寄贈したもの **右:** 本堂に向かって右側にある、鐘楼と庫裏を囲む約 50 桁の長い土塀。蘇民祭で、別当（住職）が加持祈禱のため本堂に向かう「別当登り」などは、この土塀前を通る



さらに、東北の奇祭として全国的にも有名なのが同寺の蘇民祭。豊穡と息災を願い、下帯姿の男衆らが川の水で身を清め、護符（古間木）の入った蘇民袋を奪い合う。これは「身分を隠した神様へ宿を提供した蘇民将来の子孫は災厄を免れる」という故事に由来しています。

神聖なこの祭りを執り行う人たちは、精進のため肉、魚などを 7 日前から一切口にしません。祭りの鬼子登りで神が乗り移る鬼子役の子どもまで、給食を止めてお弁当で学校に通います。

地域の根強い信仰が千年を越えて支える蘇民祭。

旧暦正月 7 日の夜から翌朝まで行われます。豊かな年となるように、願いをかけた行ってみてはいかがでしょうか。

注：令和 4 年の蘇民祭は、祭りの性質上、新型コロナ感染予防策を講じることが困難なため、夏参り、柴燈木登り、別当登り、鬼子登り、蘇民袋争奪戦の各行事は行わず、檀家のみ参加の護摩祈禱だけが行われます

黒石寺：奥州市水沢黒石町字山内 17 電話：0197-26-4168

